

神楽通信

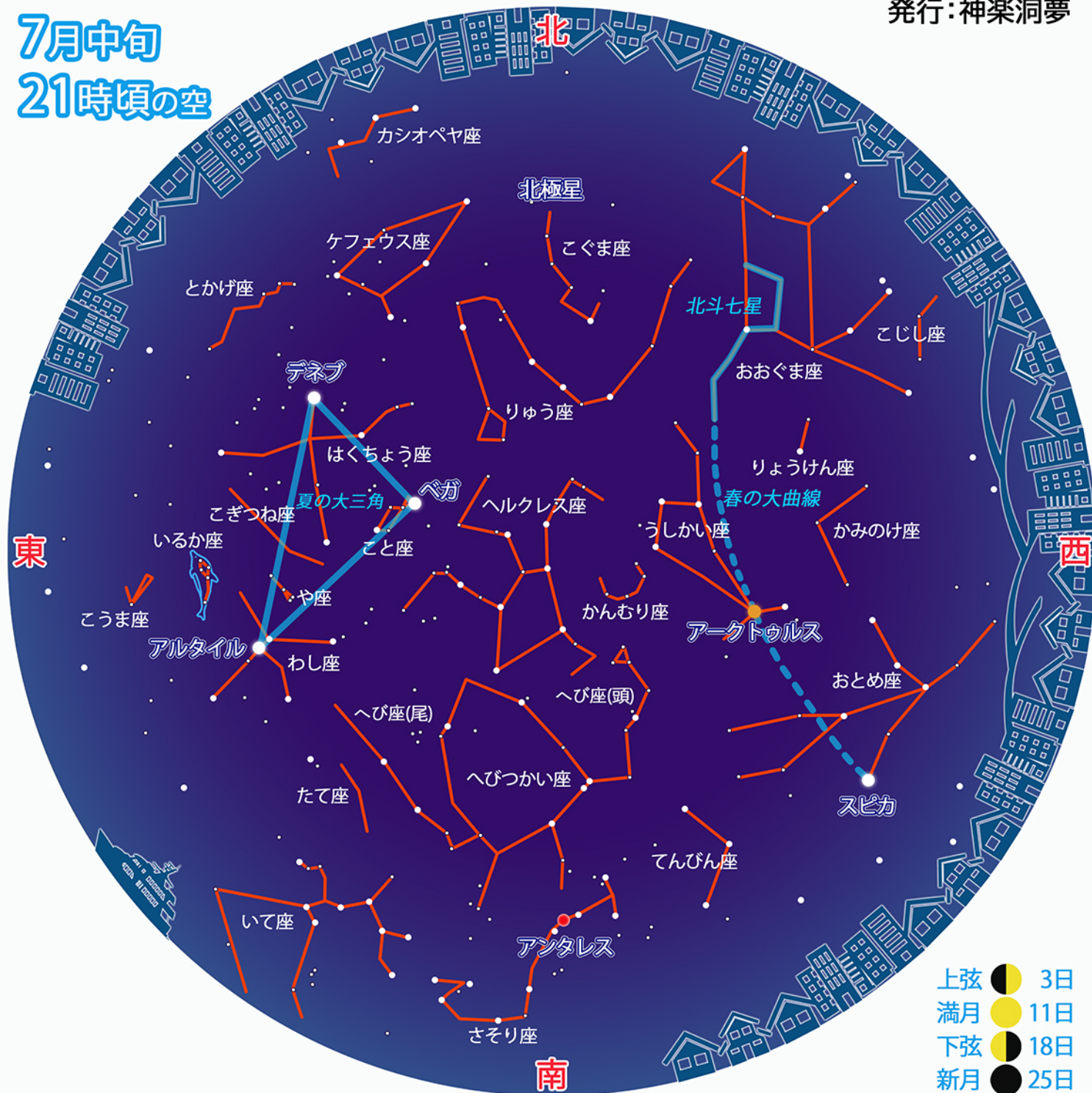
No.113

2025年

7月号

発行:神楽洞夢

7月中旬
21時頃の空



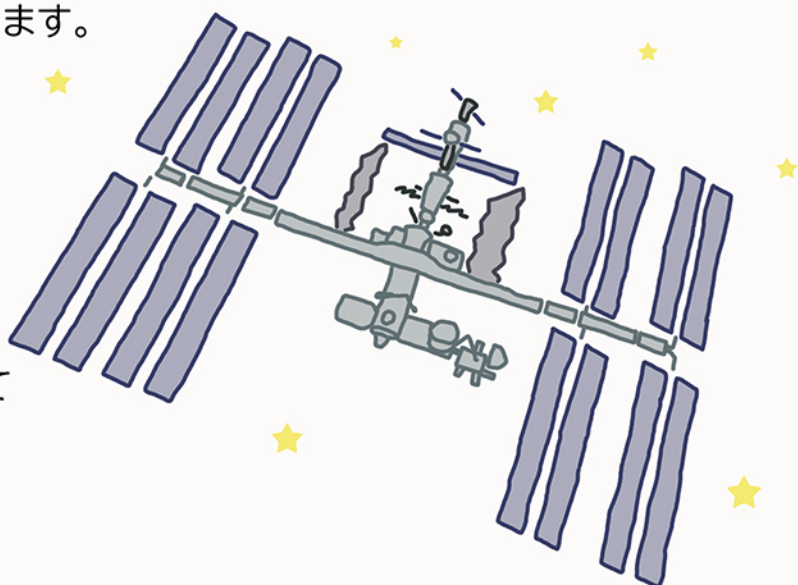
7月に入り、「真夏の女王」と言われている「ベガ」が南の空高いところに女王らしく凛と明るく輝いています。ベガは七夕物語の「織姫星」でもあり、そこから南東の空に目を下していくと「彦星」の「アルタイル」を見つけることができます。そのアルタイルのすぐ傍には「いるか座」という小さな星座があります。いるか座の星はどれも4等星とそれほど明るくありませんが、意外と見つけやすい星並びです。アルタイルを目印に探してみてください。

世界平和の象徴が宇宙にも

4月から大阪・関西万博2025が開催され、158カ国と多くの国が参加していますが、宇宙にも「国際宇宙ステーション(略:ISS)」という世界15の国々が協力して作り上げた実験施設があります。ISSは1998年からアメリカやロシアのロケットで40回以上打ち上げ、パーツを宇宙空間で組み立て完成させました。その大きさはサッカーコートと同じくらいあり、重さはなんと約420トンと、巨大な実験施設が地球の周りを一周およそ90分(時速3万km)で回っています。また多くの国が協力し合い、運用をしていることからISSは「世界平和の象徴」とも言われています。

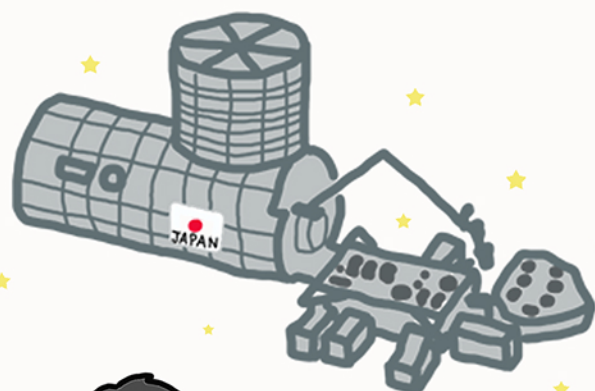
日本の実験棟きぼう

日本が作った実験棟には、「きぼう」という名前がついています。「きぼう」はISSの中で最大の実験棟でもあり、「船内実験室」と「船外実験プラットフォーム」と「ロボットアーム」に分けられています。船外実験プラットフォームでは宇宙空間での実験や地球・星の観測を行うこともできます。



それぞれの国で役割分担！

日本の実験棟「きぼう」のような実験を行う場所だけでなく、アメリカが作った「ディスティニー」には実験以外にISSの電力や通信などISSを管理する場所、荷物や燃料を保管して置く場所、トイレや寝るところ・トレーニングマシンがある生活するための場所などがあります。また日本のロボットアームは実験用に使われますが、カナダが作ったロボットアームはISSの組み立てや実験装置の交換に使われたり、同じロボットアームでもそれぞれの役割が異なります。



ISSの中では
足から船内派です...

日本人宇宙飛行士「大西卓哉」さんが4月18日からISSに滞在しています。ISSでの活動をするときには、それぞれの宇宙飛行士にミッションが与えられ、今回大西宇宙飛行士は、船内でメンバーを指揮する船長として選ばれました。船長としての任務を行うとともに「きぼう」での科学実験が今回のミッションとされています。



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565